



広報はばたき

第40号

新発田青少年健全育成市民会議

市民大会 －わたしの主張－ 新発田市大会

7月16日(土)生涯学習センターにて、約300人の市民参加のもと開催されました。

功労者表彰

青少年健全育成活動に長年尽力された個人及び団体の方々が表彰を受けられました。

<個人>

五十嵐 千里 様 「新発田市健民少年団指導員」
前田 守 様 「さわやか佐々木っ子育て会」

<団体>

住吉小学校区母親クラブ 様
二葉サークル 様
※ 二葉小学校区の母親中心のボランティア団体



(五十嵐様) (前田様 代理) (住吉小学校区 (二葉サークル様) 母親クラブ様)

活動紹介

新発田市健民少年団

小学校4年生以上の児童、中学生、高校生を対象に野外活動などの体験活動をとおり、青少年の健全育成活動を行っている。昨年度は滝谷キャンプ訓練会、赤谷体験合宿などの体験活動や、赤い羽根共同募金、新発田城清掃などの奉仕活動を行った。



記念アトラクション

くどうれんめいだいどうじゅく 空道連盟大道塾 新発田道場

従来の空手の打撃技に加え、柔道の投げ技、寝技、関節技を認めた総合武道競技である。ジュニア部門で2013、2015年全日本大会優勝、2014年世界大会で優勝している。



わたしの主張

新発田市大会

7月16日(土) 生涯学習センター

市内10中学校の代表生徒が、「今」の自分の思いを自分の言葉で発表しました。その要旨を発表順に掲載します。

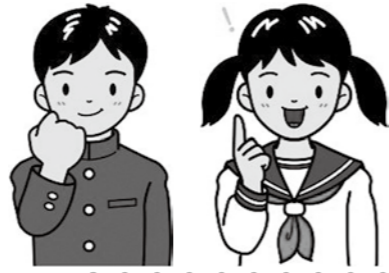
三市北蒲原地区大会結果

<8月23日(火)>

阿賀野市ふれあい会館>

優秀賞

猿橋中学校3年 田中夏陽さん



恩返し

加治川中学校3年 菊池 美翔

僕の夢は地元新発田市で医師になることです。幼い頃から喘息の症状に苦しんでいた経験が、僕をそう決断させました。新潟県の医師不足が問題になっていく今日。どんな真夜中でも温かい笑顔で迎えてくれた地元のお医者さん、そして僕を育ててくれた大好きな新発田市に恩返しをするべく、僕は医師になるためにがんばります。

地震と向き合う

第一中学校3年 滝澤 寿太郎

熊本地震。日本でもまた大きな地震が発生し多くの被害や死傷者が出てしまった。私は今回の地震で、自分達で義援金を募ったり、災害対策の詳しい話を聞いたりした。これらを通して、いつどこで何が起きるか分からないという考えが芽生え始め、たくさん地震が発生している日本で暮らしていくためには、もしもの時のことを考えていかなければいけないと感じた。

日本人の優しさ

東中学校3年 相馬 直輝

外国の方が「日本人は親切で優しい」と言っているのを聞いたことはないでしょうか。僕は今まで「日本人の優しさ」を意識することはありませんでしたが身をもって優しさを感じる出来事がありました。それらの出来事を通して、僕は外国人でも日本人でも率先して助けられる人間になりたいと思いました。そのためには誰にでも小さな事から親切にして優しさを大切にしていきたいです。

他人からの評価

紫雲寺中学校3年 田口 京

昔の私は、家族からの期待に応えるため、親からの評価のためにがんばっていました。しかし人は、他人のためにがんばっているわけではありません。自分の夢や目標を叶えるためだと私は思います。他人からの評価は、つらく、苦しいものではありませんが、自身に力を与えてくれる大切なものです。それを力に変え、よりよい結果を目指してがんばっていきましょう。

メディアと私達

猿橋中学校3年 田中 夏陽

私達がメディアと上手につきあうためには情報を鵜呑みにせず、色々な方向や立場から見ることが大切だ。私はまだ中学生で報道に関わる人間でもないが、正しく情報を受けとり自分で考えて判断し、行動したいと思う。また、情報を発信する際は、相手がどう受け取るのか考えて発言したい。こうした積み重ねを皆が実践することでよりよい社会となるものと信じている。



10中学校の代表生徒と審査員の皆様

日本の未来

七葉中学校3年 武者 茜

「保育園、落ちた日本」これは増え続けている待機児童対応への不満の言葉です。私は職場体験で、保育士の方々の熱心な仕事ぶりから保育士志望を一段強くしました。

しかし、保育士の大変さに引き替え、お給料等は低いです。これでは保育士のなり手も少なく、待機児童問題も解決しません。私は日本の未来のために、政府の有効な対策を受けて、保育士として社会に貢献していきたいと思っています。

試練から得た幸せ

川東中学校3年 長谷川 鈴歩

私は幼い頃体が弱く、何度も入院しました。私は人生の困難を試練だと思いい、乗り越えようと決めました。そしてたくさんの試練を乗り越えたからこそ今の幸せがあると思っています。困難を乗り越えるか、諦めるかは自分の未来の幸せを掴めるかどうかの大きな違いです。だからどんなことがあっても諦めないで、頑張って進むことが大切だと思います。

間違いを価値あるものに

豊浦中学校3年 齋藤 福実

人間は間違える生き物であり、同じ間違いを繰り返さないことが成長につながる。

趣味で将棋をしている僕は、同じミスを繰り返しそうなとき、それを「覆す力」が大切だと考える。将棋だけでなく日常生活でも、ミスは、自分を変えるチャンス！ ミスを覆し、成功につなげられる間違いこそ、本当に価値があるのだ。

あの東北地震から今

本丸中学校3年 森 啓登

あれから五年。今も頭から離れない「あの日」の記憶。そしてまた忘れられないのは、自分の居場所を見失っていた私を受け入れてくれた新潟の人たちの思いやりだった。

心を委ねられる人の存在は、何よりの支えとなる。
三・一一を体験した私はこれを教訓に、今、自分ができることを精一杯にやってみようと思う。

強くなる

佐々木中学校2年 佐藤 彩夢

陸上部の顧問の先生のひとつの言葉で私は変わり、部活に真剣に取り組むようになりました。私には大きな目標ができませんでした。それは、「来年、誰よりも速く走り12秒台で全中出場!!」というものです。これに向かって頑張っています。

不安なことはたくさんあります。しかし、もう過去の自分に戻ったりせず、日々努力してどんどん新しい自分に出会えるようにしたいと思います。

わたしの主張—新発田市大会— 講評

(審査委員長) 加治川中学校長 土屋 和也

多くの聴衆者を前に皆さん堂々と自分の考えや思いを述べてくれました。人前で自分の考えを述べたり、発表することには大変緊張し心のエネルギーを使うこととなります。その大きな困難を乗り越えての発表となりました。ご苦労様でした。発表内容は自分自身の課題から日本社会の課題までと、普段考えていることをよくまとめてくれていました。今年度の特徴として、自己の内面をみつめたものや自分弱さの克服、将来へ向けての思いや課題を述べた内容が多く、それらが良く分析されていたと思います。全体的に主題が途中から別のものになってしまった作品が目につきました。またもう少し声の強弱等のメリハリを付けたり、身振り、手振りや顔の表情を付けて表現を工夫するとさらに発表として優れたものになったと思います。

青少年健全育成

「市民一斉パトロール」のお知らせ



と き 11月3日(木・祝) 午前10時～正午
出 発 式 午前10時 アイネスしばた(旧県立病院跡地)
パトロール等 午前10時30分～正午(各中学校区ごと)

※詳しくは、新発田青少年健全育成市民会議事務局
 またはお住まいの地区育成協議会へ

大勢のみなさまのご協力をお願いします。



青少年を取り巻く社会環境の実態調査報告

青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、青少年の非行防止活動に資するため、毎年7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組の一環として行っているものです。今年度も、各地区のPTA役員、町内会役員、市民会議役員、補導員など青少年育成関係者述べ156人の方々にご協力いただき巡回調査をしました。

(1) コンビニでの酒類・タバコ販売状況

	25年度	26年度	27年度	28年度
店舗数	51	54	53	53
酒類販売あり	51	54	53	53
タバコ販売あり	50	53	52	52

(2) 有害図書の販売状況

		25年度	26年度	27年度	28年度
書店	店舗数	12	11	11	11
	有害図書あり	11	10	10	9
	未区分陳列	2	2	2	2
コンビニ	店舗数	51	54	53	53
	有害図書あり	49	52	50	47
	未区分陳列	2	5	1	1

*書店及びコンビニの64店舗のうち有害図書類を販売しているのは56店舗である。そのうち県条例の規定による区分陳列がなされていない店舗は、3店舗である。

(3) カラオケボックス・インターネットカフェの設置状況(隔年調査)

		24年度	26年度	28年度
総店舗数	カラオケボックス	4	4	3
	インターネットカフェ	2	2	2
夜10時以降営業		6	6	5

*カラオケボックスの総店舗数は一昨年より1店舗減少し3店舗である。

(4) その他(有害図書類等自動販売機、DVD等貸出店)

	25年度	26年度	27年度	28年度
有害図書類等自動販売機	2	2	2	2
DVD等貸出店(成人向けあり)	5	調査なし	4	調査なし

あとがき

新発田まつりの市街地花火が十四年ぶりに実施されるとのことで、妻と城趾公園まで見物に出かけた。花火大会の帰り道で、私たちの前を歩く年配のご夫婦の会話が気になった。夫が妻に向かって、「やればできるじゃないか、何でもやんなかっただんだ。」としきりに語気を強めて何度も繰り返し、妻もそれにうなずいていた。花火大会開催での市長の挨拶に、「花火の大きさはサンパワワンではないけど、お城の中から打ち上げるのは全国でもオンリーワン」との言葉があった。三階櫓をパツクに、打ち上げは一時間にも渡り、色とりどりの花火は幻想的で感動的なものであった。そのすばらしい感動を受けての前出のご夫婦の発言であつたと思われる。私もその思いに同感し領いたものであった。青少年健全育成の活動は、なかなか地道で見えにくいところもあるが、新発田の将来を担う若者たちがオンリーワンの輝きを示せるよう、微力ではあるが私も頑張りたいと思っている。

(編集委員 小出 隆一)

発行 新発田青少年健全育成市民会議
 事務局 新発田市青少年健全育成センター
 住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
 電話 (〇二五四) 二六一〇八九七

編集委員

猿子 洋司 前田 清
 小出 隆一 水野 善栄
 遠山 明美